青梅市みどりの基本計画の改定にかかる地域別座談会等　実施報告

資料３－１

１　地区別座談会

北部地域：令和６年11月17日（日）小曾木市民センター　第１・２会議室
　　参加者　７名
東部地域：令和６年11月23日（土）青梅市役所　２階201・202会議室
　　参加者　８名
西部地域：令和６年11月24日（日）梅郷市民センター　第１・２会議室
　　参加者　９名

ワークショップのテーマ
　テーマ１：人口減少・少子高齢化に対応したまちづくり
　テーマ２：誰もが安全で安心のまちづくり
　テーマ３：自然・文化など地域資源を守り、活かすまちづくり

みどりに関する主な意見

公園に関する内容

- 公園などにイベントなどができるステージ整備（東部）
- 公園の魅力を若者などへの周知（西部）
- 公園や森で遊ぶこどもがいないため、意識的に遊ばせる必要がある（北部）

森林に関する内容

- 青梅の木材ブランド化等、林業の活性化（東部）
- 杉から広葉樹への転換やバイオマス活用による林業活性化（北部）
- 管理されている森はきれいだが、ナラ枯れ等で荒れている山がある（北部）
- 管理できない森林は災害危険性が高くなるため、補助が必要（北部）
- 野生動物の出没による危険性がある（西・北部）

観光に関する内容

- 宣伝力を強化、観光客を増やすシステム、地域資源の維持管理（東・西部）
- 駐車場、トイレ、ツーリング拠点、道の駅、多摩川サイクリングロードの青梅までの延伸等のインフラ整備（東・西・北部）
- 古き良き青梅の良さを残しつつ、時代にあった観光メニューの創造（西部）

農業に関する内容

- 農業で収入確保できるシステムによる若者世代の担い手づくり（西部）
- 体験型市民農園の拡大（西部）
- 休耕田の見直し（北部）

管理に関する内容

- 民有地の大木化した樹木管理への支援（東部）
- 街路樹の利用とメンテナンス（東部）

環境学習に関する内容

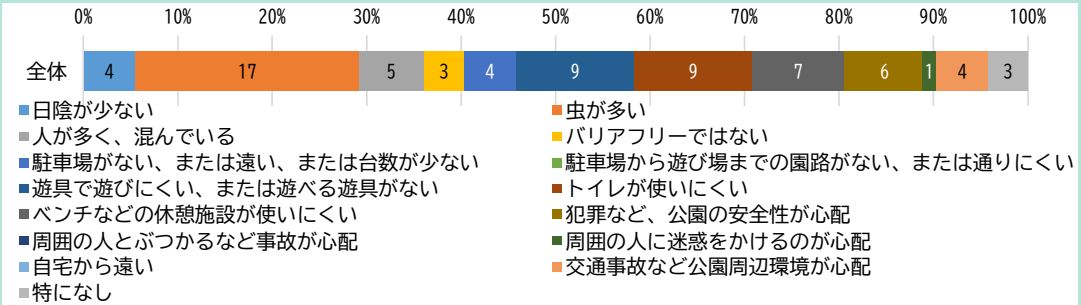
- 青梅の自然を活かした教育の実施（東部）
- 市内小学校に対して、森林体験学習を実施（北部）
- 森林体験学習によるこどもへの効果が表れている（北部）

２　青峰学園アンケート調査

【対 象 者】：青峰学園児童・生徒203名および保護者
【調査期間】：令和６年10月21日～11月1日
【回 答 数】：35名（内児童・生徒26名（12.8%））

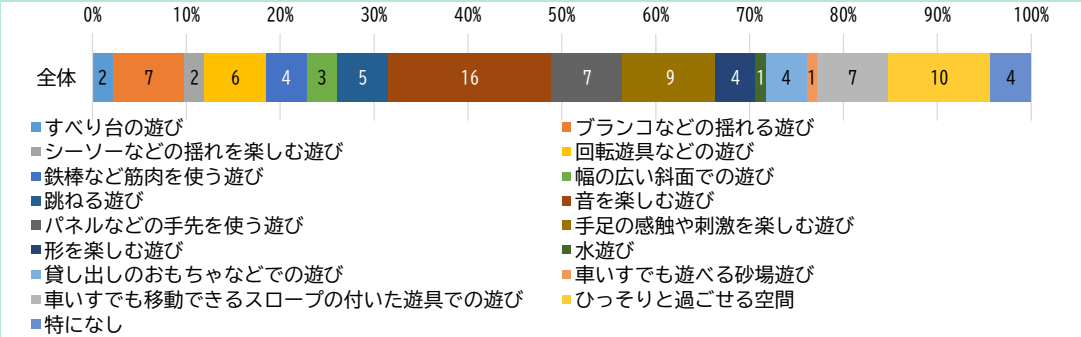
公園で利用しにくい点、苦労する点(複数回答)

「虫が多い」17名，23.6%
「遊具で遊びにくい、または遊べる遊具がない」「トイレが使いにくい」9名，12.5%



インクルーシブな遊び場に必要だと思う遊び(複数回答)

「音を楽しむ遊び」16名，17.4%　　「ひっそりと過ごせる空間」10名，10.9%
「手足の感触や刺激を楽しむ遊び」9名，9.8%



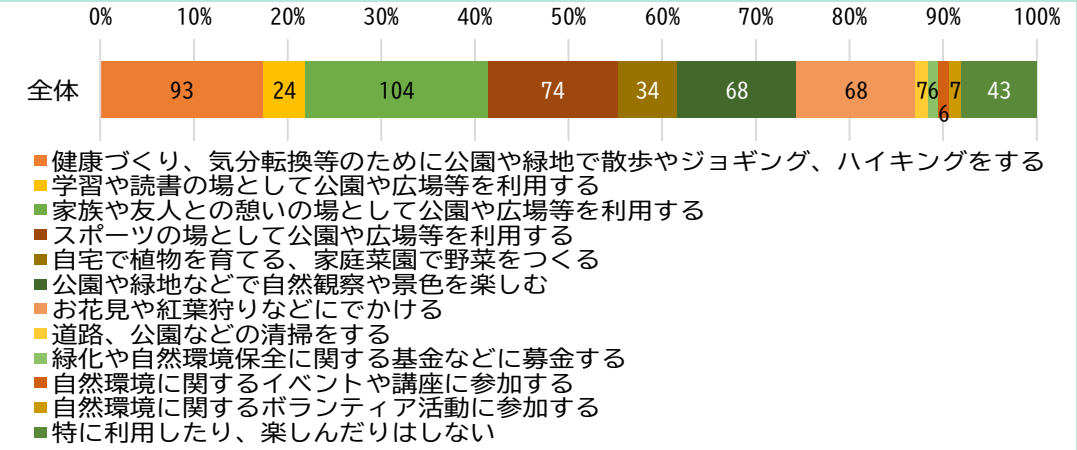
青梅市みどりの基本計画の改定にかかる地域別座談会等　実施報告

3　高校生アンケート調査

【対 象 者】：多摩高校、青梅総合高校2年生352名
【調査期間】：令和６年12月11日～12月27日
【回 答 数】：254名（72.2%）

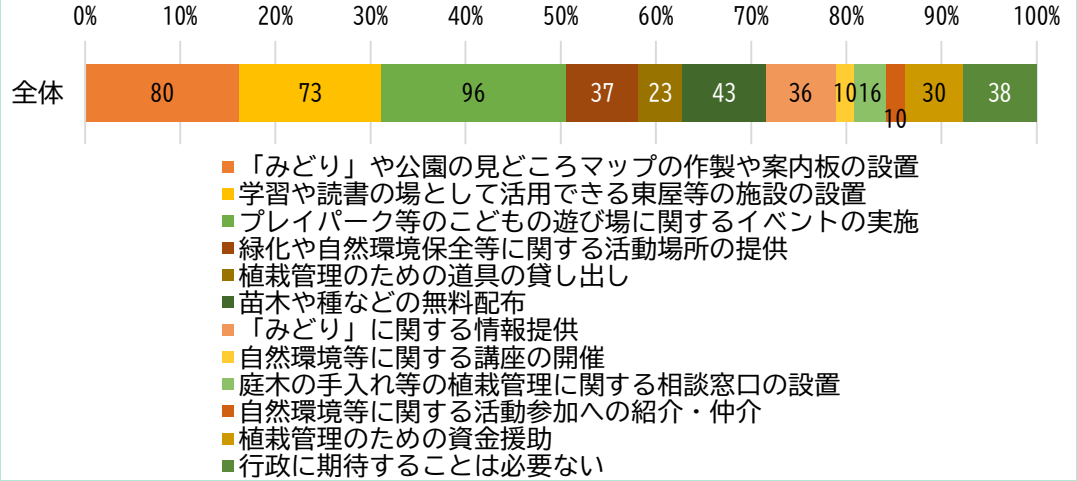
日常生活でのみどりの楽しみ方（複数回答）

「家族や友人との憩いの場として公園や広場等を利用する」　104名，19.5%
「健康づくり、気分転換等に公園や緑地で散歩やジョギング、ハイキングをする」　93名，17.4%
「スポーツの場として公園や広場等を利用する」　74名，13.9%



みどりを楽しむために行政に期待すること（複数回答）

「プレイパーク等のこどもの遊び場に関するイベントの実施」　96名，19.5%
「「みどり」や公園の見どころマップの作製や案内板の設置」　80名，16.3%
「学習や読書の場として活用できる東屋等の施設の設置」　73名，14.8%



4　中学生オンライン交流会

【参加児童】：市立小学校10校、45名
【実施日時】：令和6年12月23日　午後3時30分から午後4時30分まで
【会　　場】：各学校間と市役所（オンライン開催）
【テ ー マ】：青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには

グループD
- 自然や緑の役割としては、地球温暖化の防止や生き物の住処、ふれあいの場、土砂災害の防止、魚が暮せる環境、こどもの遊び場、地球温暖化防止、リラックス効果があると考えた
- 自分たちができることはポイ捨てをしない
- 自然環境を活かした若い観光客向けのイベントの実施をお願いしたい
- 他校でも自然を守るボランティアに取り組んでほしい
- 他校でも自然とふれあう活動をしてほしい

グループE
- 自分たちでできることは、植樹活動や川の清掃、ごみ拾い等のボランティア活動、生徒会によるリサイクルに関する講座開催であると考えた
- 地球温暖化抑制のポスターやポイ捨てされたごみの写真などを校内や市内に掲示してほしい

グループF
- 自然や緑の環境的な役割（大気の浄化や光合成による環境保全）と精神的な役割（リラックス効果や自然体験による良い刺激）があると考えた
- これらの役割を未来につなぐため、必要以上の森林伐採やポイ捨てをしない、林業に興味を持ってもらう活動がある
- ボランティアやＳＮＳでの発信、林業体験、青梅産木材によるアスレチックや特産品の製造など、市内外に対し青梅の林業に興味を持ってもらう活動の実施を提案する
- 青梅の木材や林業に興味を持ってもらうことで、青梅の注目度が高まり森の循環もできるのではないか

アンケートの主な意見
- 各学校課題とこれからどのように活動していけばよいか理解する良い機会になった
- オンライン交流会で得た意見を取り入れ、今後活かしていきたい
- どの学校もそれぞれしっかり考えていて、お互いの意見を深められ、まさに交流会ができた
- 市内の学校との交流を図るため、同じボランティアに参加できるような企画を市にお願いしたい